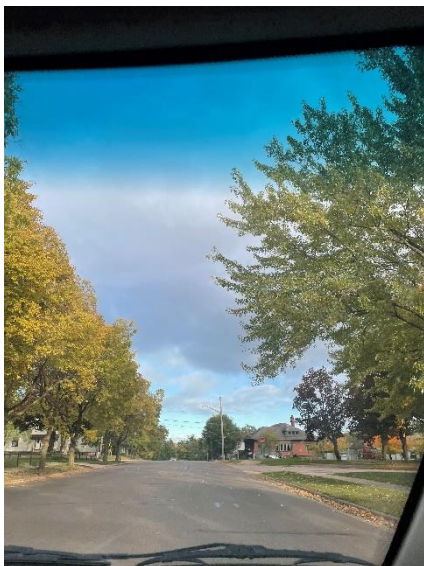


木の葉もほとんど散って、ウィスコンシンは冬の足音がしていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

気づけば10月も過ぎ、2回目の報告書を書く時期になりました。アメリカに来てから3か月が過ぎようとしていますが、日々の生活に慣れてきた一方、新鮮なこともまだ多いです。



東京に比べて自然が豊かなウィスコンシンでは紅葉がとてもきれいでした。毎日学校から帰るときに、ホストファミリーの車から見える木の葉の移り変わりを見ることを楽しみにしていました。

今月は秋を感じるイベントがたくさんありました。

Apple Orchard とはりんご農園のことで、トロッコなどいろんなアクティビティも体験できました。アップルサイダーなど日本ではあまり有名ではない

物もアメリカだと一般的だそうです。りんごがたくさん木の下に落ちていているところを見て、日本との意識の違いに気づかされました。日本人は基本的に食べ残しも少なく、もったいない精神があると感じます。



そして、アメリカのハロウィンは期待通りのスケールの大きさです。実はアメリカに到着した8月からお店にはハロウィンのものが並んでいて、10月になると家の前を豪華に飾り付けする人もいて、町中がその日を楽しみにしていることが伝わってきました。当日、学校に行くためのスクールバスからたくさんの仮装した子供たちを見て、日本との大きな差を感じていました。学校にも少しでしたが仮装してきている人もいました。放課後、ホストシスターと一緒にダウンタウンにトリックオアトリートに行きましたが、小さい子供で町があふれかえっていました。家の前でたくさんの子供たちにお菓子を配ったのもアメリカならではのいい思い出になりました。日本よりも子供が中心のハロウィンだったように感じます。



写真はホストシスターが集めてきたお菓子たちです。次のハロウィンまでに食べきれるか心配です。

日本でもスポーツの秋と言いますが、多くの私の学校の生徒もいろんなスポーツに打ち込んでいました。しかし、アメリカのスポーツはシーズン制なのでようやく慣れてきた頃の10月には秋のスポーツ（バレーボール、アメリカンフットボールなど）は終わってしまいました。私もクロスカントリーのチームにも練習にも慣れてきて、どんどん体力がついてきた矢先に終わってしまうのは少し寂しかったですが、最後の大きな大会に向けてたくさん練習しました。留学生なので応援しかできないレースも多々ありましたが、男子が進んだ States Final へも応援に行けて、貴重な経験ができました。初めての陸上競技で英語もままならないのに、快く受け入れて手取り足取り教えてくれたコーチ、友達には感謝しかありません。



また、学校のバレーボールチームも States Final に進んだので友達と応援に行ってきました。試合は金曜日でしたが、学校に行かないで現地に向かう人が全校の半分ほどいたことが私にとっては衝撃でした（学校からの許可は下りています）。States Champion にも輝きました。

このようないろんな出来事を通して、学校の一員になっていることを自覚し始めています。しかし、まだ自分の英語に自信が持てなくて、学校では話すより聞いているだけのことが多いです。友達も日本でのように思った通りに作れません。

しかし、自分で選んで目標をもってここに来たので、ネガティブに捉えずに充実して、学びに溢れた日々を送れるようにできることを模索していきたいです。

次世代リーダー育成道場 10 期生、白鷗高校 14 期生 Y.K